

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年3月5日

【評価実施概要】

事業所番号	2772202186
法人名	社会福祉法人 聖綾福祉会
事業所名	グループホームせいりょう巽北
所在地	大阪市生野区巽北3丁目4-13 (電話) 06-4306-9000
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年2月14日

【情報提供票より】(平成20年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年2月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	11人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.6人

(2) 建物概要

建物構造	重量鉄骨 造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	82,750円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) ③			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④ (300,000円)	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	315円	昼食	525円
	夕食	735円	おやつ	60円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成20年1月15日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.8歳	最低	67歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	生野中央病院、たけだクリニック、かねむら歯科、きたはらクリニック
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

関連事業所が介護付有料老人ホーム等の運営に10数年の実績を持ち、認知症高齢者にグループホームの必要性を感じ設立されたホームです。1階には併設のデイサービスセンターがあり、2、3階がホームとなっています。我が家のような居心地の良さを目指してスタッフ同心を込めて介護に取り組んでいます。昔ながらの住宅街の一角にあり、地域の地蔵盆に参加したり、お話ボランティアや大正琴、ハーモニカのコンサートに来てもらうなど地域の方との交流があります。近々地域で開催されるバイオリンコンサートのお知らせも届いています。デイサービスと合同によるドッグセラピーも取り入れています。食事は業者に委託していますが、月2回給食懇談会を開き、業者と職員合同でメニュー等検討しています。また、おやつ作りや年に数回は鍋物をして利用者に楽しんでもらっています。各書類、介護計画書、個人記録などは丁寧に記載し、より良いホームを目指して取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された家庭的な玄関周りの工夫については、家族の協力のもと季節の花が植えられていました。利用者も水遣り等をして喜ばれています。ドアロックの件については検討中で、散歩については毎日出かけるなどして外出の機会をつくり対応しています。食事については、今は年に数回しか一緒に調理していませんが、おやつ作りは頻繁に楽しんでいます。アンケートも実施して好みを把握し、献立に活かしています。研修については年間計画を立て実行中です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価は、管理者、介護支援専門員と会議で検討し、月例会議で職員に意見を聞いて作成しています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目③	運営推進会議ではグループホームの事業計画や活動内容の報告、その他日常生活の様子などを説明しています。地域の町会長や民生委員の理解も深まり、商店街の催しにも参加しました。ホームの夏祭りでは連合会長等の参加がありました。今後は2ヶ月に1回の開催が求められます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目④	玄関脇に苦情箱を設置しています。家族の来訪時には職員が声かけをして、意見や希望を聞く機会を作っています。また、家族会を開催したり、行事に参加してもらったりして交流を図り、気軽に意見交換ができるように努めています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「私たちは、常に安全で清潔、イキイキした生活を提供すると共にご家族の気持ちで親身になってお世話を致します」をパンフレットや説明案内文等に掲げています。現在地域密着型サービスとしての役割を担える内容になるように検討中です。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化され、ミーティングや申し送りの際に、業務が理念に沿っているかどうかを確認し合っています。また、全職員としての約束事『1、一人ひとりが考える。(人任せにしない) 2、他者と会話する。(一人で抱え込まない) 3、他者の意見を聴く。4、決めたことは全員がやる。5、やる前から出来ないと言わない。6、愚痴、陰口を言わない。7、約束を守る』を決め、常時職員の目に付くところに掲げています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の自治会に加入し、回覧が回ってくる関係作りができています。商店街の地蔵盆に参加したり、地域の夏祭りや秋の運動会に参加したりして楽しんでいます。近隣の廃品回収にも毎月参加し、協力しています。地域で活動があるときは、町会の役員から連絡をもらって参加しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、自己評価作成には全員で取り組んでいます。前回の外部評価についても、家族・職員に報告し、具体的な内容を検討し、改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成しています。また、会議録で出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。現在のところ、開催が1回のみとなっています。	○	今後はおよそ2ヶ月に1回の開催が求められます。今後も、事業所を理解してもらう機会として積極的な活用が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の高齢福祉課とは連携を持っており、絶えず連絡や相談をしています。今後も運営推進会議に参加してもらい、意見交換をしていきたいと考えています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会は、毎日頻繁に来訪される方や月1回の訪問等さまざまであり、時々外食や外泊されている利用者もいます。訪問の際には近況を伝え、また健康状態や服薬状況も報告しています。金銭管理については、利用者一人ひとり出納帳を作成しています。毎月請求書と共に購入した物の領収書と残高を明示し、家族に確認してもらっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設けています。また、意見を自由に言える雰囲気作りを心がけています。家族会も開催して交流があり、行事の際にはできるだけ家族の方に参加していただけるように、何でも話し合える機会を作っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限に抑えるよう努めています。また、引継ぎについてはマニュアルを作成し、活かしています。新人職員が入るときは、家族の来訪時に自己紹介をしています。また玄関に職員の写真を掲示し、職員紹介もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員会を設けて年間計画を立て、外部研修についても年3回以上取り組み、毎月1回は内部研修や伝達研修を積極的に実施しています。今年度はレクリエーション、認知症ケア、接遇マナー、感染症対応、緊急時対応、発熱時対応等の内容でした。報告書の提出もあり、欠席者も資料を見て勉強している報告もありました。また、		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	生野区のネットワーク作りに積極的に参加し、福祉職員合同の会合に参加しています。今後は全職員が他ホームとの交流の機会を深めていくことを検討しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族がホーム見学に来訪したり、ホームから本人の家庭を訪問したりしています。また入院先や入所先へ訪問し、面接を行うこともあります。体験入居については慎重に検討しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なこと、洋裁の得意な方には衣服のほころび直しをお願いしたり、習字、戦争当時の話、干支の話等、職員は利用者から楽しく教わったりしています。工作、リース作り、食器洗い、洗濯物の取り入れ等は職員と一緒にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、状況把握に努めています。利用者の言葉や表情から思いを読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や周囲の関係者から情報を得て、入居に至るまでを記述しています。また、「私の基本情報シート」や「家族シート」「生活史シート」等を把握し、「今」の生活を安定させることに力を入れています。個人別情報を作成しており、昔話や好きなことなどを随時追記しています。また、職員全員で確認、把握に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議に職員が参加し、介護計画を作成しています。また利用者や家族の意見を取り入れて反映させています。また、アセスメントシートも作成し、利用者の生活歴、ライフスタイルについても記載しており、利用者が望まれる生活を取り入れています。作成した介護計画については、利用者や家族から同意のサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月から6ヶ月ごとに見直しを行っています。また変化がある場合は、都度介護計画の見直しを行っています。目標については、日々の記録やミーティング、毎月の全体会議で話し合い、利用者の状態変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録が整備されており、それらに基づいて介護計画が見直されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階のデイサービスで行われる、ボランティアによるバイオリンコンサート、ひな祭り等の行事に参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に内科医、歯科医の往診があり、診察や指導を受けています。また、家族や利用者の希望でかかりつけ医に受診できるように対応しています。緊急時のために入院設備のある病院との連携も確保しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では職員間で数回、会議を開催し重度化を課題に話し合っています。家族には、症状が重度化した時は特養や病院に移動してもらうよう説明し、話し合っています。併設のデイサービスセンターには看護師がいますが、現在のところ医療連携体制は整っていません。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図るよう心がけています。また、日々の介護場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払い、職員の言葉使いも丁寧です。個人情報保護の規約など、事業所と職員間で取り交わしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急かすことなく支援しています。事業所としての日課はありますが、利用者の意向に合わせて支援し、見守ることにしています。気候や利用者の状態を確認しながら、常に臨機応変に取り組んでいます。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は調理された物が1階厨房より運ばれてきますが、ご飯の硬さは利用者に希望を聞き、ホームで炊飯しています。献立は月2回業者、職員で会議を持ち利用者の希望を伝え取り入れています(バーベキュー、お好み焼き、鍋物、すし、焼きそばなど)汁物等については温かいものを提供しています。職員と一緒に楽しく会話をしながらの食事、後片付けをしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、デイサービスセンターへ週2回温泉湯が届けられ、そちらを好まれる方には大浴場で入浴してもらいます。家族風呂を好まれる方はホーム内での入浴を支援しています。希望があればいつでも入浴できるよう支援しています。また、失禁等があった場合は自由にシャワーを利用しています。	○	今後は利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう、体制整備と雰囲気作りが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が以前住んでいた家の近くにある商店街へ出かけ、馴染みの方と会話を楽しんでいます。また、洋裁の好きな方には繕い物をしてもらったり、習字が得意な方には利用者や職員に指導してもらったり、若い職員に戦争の話をする方、洗濯物を干したりたたんだり、個人別に分けてくださる方など、利用者一人ひとりに合った支援を行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望される方には毎日近くの公園や商店街への散歩、買物などの支援を行っています。また外出時には近所の方や幼稚園児、子どもとの会話を楽しんでいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	共有空間と専用エレベーターには鍵はかかっていませんが、各階フロアの出入口はロックしています。外出したいときは職員が同行しています。利用者の危険回避のため、やむを得ない状況もありますが、職員の目の届く範囲で施錠しない方法を検討中です。	○	今後も家族と職員で検討し、鍵をかけないケアを目指して取り組むことが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルは作成しています。消防訓練や避難訓練も実施しています。非常用食料等については、1階のデイサービスと共同で備蓄を行っています。今後は、グループホームで備蓄を行うことが期待されます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量を把握しています。また栄養バランスについては専門家によるカロリー計算もされています。水分摂取についてはこまめに声かけを行い、職員が情報を共有しながら対応し、記録も残しています。コップに目盛りをつけておおよその量が分かるよう工夫しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花が植えられ、華やかな雰囲気になっています。生活空間はゆったりとして採光も良く、ひな祭りに合わせて雛人形を飾ったり、熱帯魚を飼うなどして家庭的な雰囲気になるよう工夫しています。全室に洗面所とクローゼットが設置され、清潔感がありました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には自宅からベッドやタンス、テレビ、なじみの家具などが持ち込まれ、居心地の良いように工夫しています。利用者の若い頃の写真や家族の写真を飾られている方もいます。クローゼットには、洋服や季節ごとの必要なものが収められており、綺麗に整頓されていました。		